

平成 24 年度日本大学工学部土木工学科外部評価委員会 議事録(案)

日 時 平成 25 年 3 月 6 日(水) 14:00～17:15

場 所 日本大学工学部 8 号館 3 階土木ゼミナール室

出席者 前回外部評価委員会委員

- ・宇都宮大学大学院 中島章典 教授
- ・日本シビックコンサルタント(株) 大塚孝義 代表取締役社長
- ・福島県土木部 松本英夫 次長 (2 月 27 日に事前説明および意見聴取)

日本大学工学部土木工学科

堀井雅史, 岩城一郎, 長林久夫, 中村晋, 古河幸雄, 渡辺英彦, 仙頭紀明, 知野泰明,
藤田豊, 中野和典, 子田康弘, 梅村順

配布資料 :

- (1) 外部評価委員会実施要領
- (2) 土木工学科紹介資料 (パワポ)
- (3) 土木工学科の取り組み紹介 (パワポ)
- (4) オープンキャンパスの分析
- (5) 学科パンフレット, チラシ, クリアファイル等広報資料一式
- (6) 前回 JABEE 審査 (中間審査) 結果
- (7) 学習・教育目標改訂の経緯 (パワポ)
- (8) 学習・教育目標 (現行)
- (9) 学習・教育目標 (改訂案)
- (10) 福島県土木部松本英夫次長への事前説明議事録
- (11) 宇都宮大学における JABEE に対する取り組みについて (中島教授) (パワポ)
- (12) 建設業 (コンサル) に求められる人材 (大塚社長) (パワポ)
- (13) 公務員 (県技術者職員) に求められる人材 (松本次長) (パワポ)

回覧資料 : 土木工学科独自の入学前教育資料一式

参考資料 : 学習・教育目標改訂説明資料, 教育点検・改善システム

議 事 (司会 : 岩城教授) :

1. スケジュールの説明

岩城教授より, 配布資料(1)に基づき, 資料の確認およびスケジュールの説明があった。

2. 学科主任挨拶と出席者の紹介

堀井学科主任より, 委員会を開催するにあたり挨拶があった。引き続き, 土木工学科の出席者による自己紹介があった。

3. 学科の現況および取組みに関する説明と質疑

堀井学科主任より、配布資料(2)と(3)に基づき、学科紹介と学科の現況および入学前教育について説明があった。引き続き、岩城教授より学科の取組みについて、梅村専任講師より今年度のオープンキャンパスの実施状況と改善点についてそれぞれ説明があった。

質疑応答：

- ・入学前教育の高校生の実施状況はどのようなものであるか。(中島教授)
→推薦系入学者に対して案内を送付している。現在は対象者の約 50%について 1 回以上のアクセスがあったことを確認している。なお、入学前教育の実施状況は、推薦入試区分で集計が可能ないようにしており、次年度は入学前教育の効果を検討するため、対象者の成績や単位取得状況などの追跡調査を行う予定である。

- ・就職状況は非常に良いが大学院への進学者が少ない状況は分析されているか。(大塚社長)
→就職状況が良いことで他学科のように進学し就職を考えるような状況にはならず、これも一因と考えている。本学科の就職状況は、推定ではあるが 6 月時点で 70%程度の学生が内定している。また、学資支弁者の経済状況も進学に際し、大きく影響している。

- ・公務員の合格者が今年度増加しているが公務員志望者は多いのか。(中島教授)
→例年は、初学年次は公務員志望が多い傾向にあるものの、最終的に合格する割合は 10%程度である。

- ・オープンキャンパスに対する取組みは工夫がされていると思う。会社説明でも若手技術者が説明した方が学生の会社に対する印象が良い傾向にある。(大塚社長)

- ・教育点検・改善システム図の PDCA サイクルにおいて各 WG の役割はどのようになっているのか。(中島教授)
→各 WG の役割は内規に定められているが、一部、現状の活動状況と教育点検・改善システム図が一致していないところがあるため今後検討したい。

4. JABEE 中間審査報告と学習・教育目標の改訂について

岩城教授より、配布資料(6)に従い、中間審査における一次審査結果について特に W 判定となった点検項目について説明があった。

仙頭准教授より、配布資料(7)(8)(9)に従い、学習・教育目標の改訂の経緯と改訂した内容について説明があった。

質疑応答：

- ・英語科目は JABEE 基準(f)に対応していないが 2012 年基準は変わったのか。(中島教授)
→新 JABEE 基準(f)において「国際的に通用する・・・」との文言が削除されており、英語科目を(f)

に対応させる必要がないと考えている。

・新しい学習・教育到達目標への改訂にともない、これまでの学習・教育目標が適用される学生の再履修に当たっては授業内容と達成度の評価に齟齬は生じないか。(中島教授)

→各科目の授業内容は、それぞれの学習・教育目標が包括するよう考慮しており、講義内容と達成度評価に齟齬は生じない。

・新しい学習・教育到達目標(D)の科目の並びは本学科の専門科目における重要度の順を意識しているのか。(大塚社長)

→専門科目における必修科目を示しており、その並びは JABEE 基準を基本的に踏襲している。

・改訂前のように大見出しがあった方が学生にはわかり易いとする。(大塚社長)、学習・教育到達目標の示し方は学生が理解しやすいよう工夫した方がよい。(松本次長)

→御意見に従い、学生が理解しやすいように見出しを付けることを検討する。

5. 改訂案の承認

前回外部評価委員会委員より、新しい学習・教育到達目標の改訂案は、シンプルにまとめ学生に対してわかり易いように改訂されているとの意見が出され、改訂案が承認された。

また、学習・教育到達目標の示し方に関しては、学生がわかり易い見出しを付ける方針とすることが了承され、この見出しについて本学科が責任を持ち対応することで一任された。

6. 前回外部評価委員による講話

中島教授より宇都宮大学における JABEE に対する取り組み、大塚社長よりこれからの建設業(コンサル)に求められる技術者像について講話を頂いた。また、松本次長のこれからの公務員(県庁)に求められる技術者像に関して、事前説明を受けた仙頭准教授よりその要点が説明された。

質疑応答：

○宇都宮大学における JABEE に対する取り組み

・日大における達成度の確認は、ポートフォリオで行っており、宇都宮大学のようにレーダーチャートで視覚的に表す方法も学生にわかり易く参考にしたい。

・途中経過もわかるようになっているのか。

→わかるようになっている。

・学習保証時間は、確認できないのでは。

→達成されていれば自動的に学習保証時間も達成される設計になっている。

○これからの建設業(コンサル)に求められる技術者像について

・ゼネコンに望まれる人材には、作業員のマネジメント力や安全管理の感覚、また図面を見て3次元で考えられる能力が大切であると考え。また、コンサルタントにおいては、受注にあたってプロポーザルが重要であり、慣例にとらわれたり、マニュアルを重視するような保守的な思考はコンサルタント業務には不向きである。

・面接において学生の技術力をどのように見ているのか。

→専門科目における基本的な考え方（例えばコンクリート強度の大小を決める主因は）を聞いている。成績が良くても答えられない学生がいる。

・会社として入社前の教育はされているか。

→我が社では、TOEICの受験を課している。

以上の議論の後、大塚社長より、本学科の技術者像は社会の要求に合致していることを確認いただいた。

以上
記録 子田